



# 3. 共生社会環境醸成のための ワークショップ

大杉 豊 教授  
小林洋子 講師

# 概要

- きこえない社員が働く職場では、周囲のきこえる社員が「きこえない」ことを理解し、コミュニケーションの方法を工夫するなどバリアを低くする取組と併せて、きこえない社員も自身が働きやすい環境の提案をする取組が求められる。
- きこえない社員が働きやすい環境の提案をするための知識と技術を学ぶためのコンテンツ及び、研修実施マニュアルを開発する。

# 1年目



- 文献調査の実施
  - 聴覚障害のある社員自身による職場改善およびキャリアアップ取組事例の収集
- ワークショップの開催（東京都内）
  - 企業等に就職する本学卒業生17名参加
- ワークショップ開催マニュアル案の作成
  - 聴覚障害社員自身が職場改善とキャリアアップに主体的に取り組む方法を考えるワークショップ開催手法

# 2年目



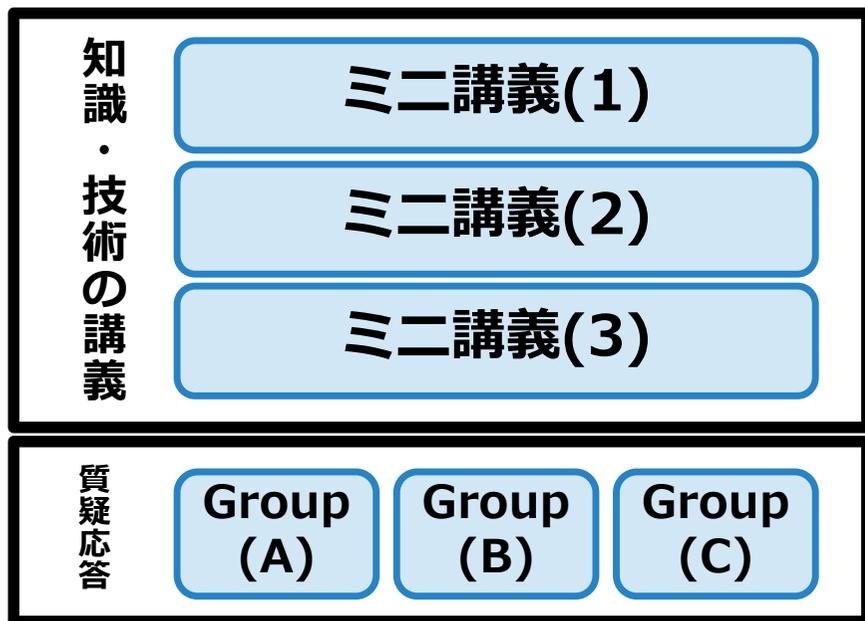
大阪でのワークショップ



東京でのワークショップ



## ワークショップの構成



## 知識・技術のコンテンツ

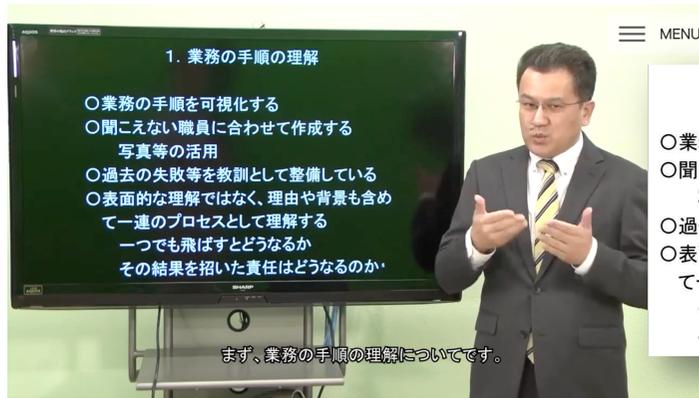


# 3年目



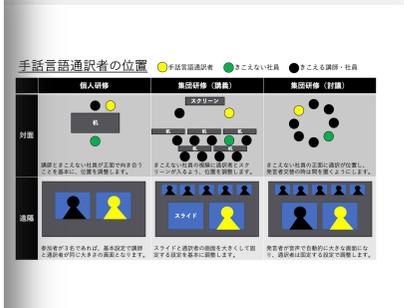
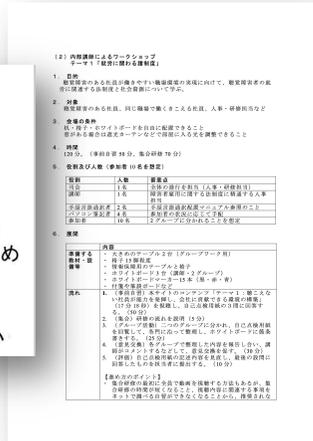
- 企業内の研修・ワークショップ、企業を超えたワークショップなど、そして対面方式、遠隔方式のどちらにも対応。
- 「新しい生活様式」を模索する社会のニーズにマッチ。

## ■ウェブサイト構築、キャリア開発研修等への活用



1. 業務の手順の理解

- 業務の手順を可視化する
- 聞こえない職員に合わせて作成する 写真等の活用
- 過去の失敗等を教訓として整備している
- 表面的な理解ではなく、理由や背景も含めて一連のプロセスとして理解する 一つでも飛ばすとどうなるか その結果を招いた責任はどうなるのか



## ■今後の展開及び展望

- ウェブサイトの活用による企業サポート
- コンテンツを活用する大学授業科目の開発